

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.41 (2019.8.27)

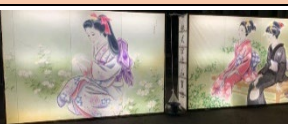
令和元年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
顧客満足(CS)と従業員満足(ES)の向上
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

「物はこれを生かす人に集まる」という言葉を皆さんは聞いたことがあるでしょうか？これは(一社)倫理研究所が発行している「万人幸福の栞」17 箇条の第 11 条にある言葉です。そこには『物は生きている』と言ったら、半分は「そうだ」と言い、半分は「そうではない」と言うであろう。しかし物はすべて生きている。着物も、道具も、機械も、金銭も皆生きている。』とあります。もちろん私たちが普段使用しているパソコンや車あるいは道具が「生き物」であるはずはありませんし、そのものが意思を持ったり勝手に動いたりすることはありません。

しかしこの文書の続きには『大切に使えばその持主のために喜んで働き、粗末にあつかえばすねて持主に反抗するだけでなく、時には腹立てて喰ってかかる。怪我をするというようなことはこうした場合が多い。朝晩道具を拝むようにして働く農夫や大工が、その道具で怪我をするというようなことは少ない。不足不平でぶつぶつ言い、機械を敵のようにいやがり、奴隷のように酷使している人は、その機械の運転がまずく時には大けがすることさえある。仕事に精根をかたむける人は、まず用具に手入れを十分にし用具を大切に使う。』とあります。確かに私たちが怪我をしたりするときには往々にして、自分のウデが悪いのに道具のせいになったり、あるいはいいいやながら作業をしているときに起こるような気がします。また整備や手入れをおろそかにすることは事故に直結するものと常々教えられております。当社が目指す「明朗・愛和・喜働」は「明るく朗らかに皆仲良く働く」ということですが、この文章からは仲良くするのは人同士だけではなくモノとも仲良くすることが大事なのだと教えられている気がします。

猛烈な暑さだった夏もお盆も過ぎて少しずつ秋の気配へと変化しております。大きく体調を崩した方もいらっしゃらないよう安心しておりますが、熱中症に対しては油断せずに体調管理をして参りましょう。

東北中央道フォーラム	建設業体験フェスタ	東北中央自動車道要望会
 7月26日 湯沢文化 会館におい て、800名 を超える参 加者のもと 「東北中央 自動車道新庄湯沢間建設促進フォーラム」 が開催されました。	 7月22～26 日、雄勝高校を 主会場に、建設 業協会主催のフェ スタが行われ、高 校生10名が小 型車両系、現場見学、型枠や鉄筋などの6工 種の体験をしました。一人でも多く我々の業界に 入ってもらえればと思います。	26日のフォーラムを受け、30日に国土交通 省・財務省・官房長官へ早期完成のための予 算確保の要望をして参りました。 
湯沢七夕絵灯ろう祭り	仙台広瀬川灯ろう流し	稲川中学校来社
 今年の絵灯 ろうは「秋田 魁新報社 賞」を頂きました。5日の夜には多くの社員と 家族の皆さんにお越し頂き有難ございま した。来年も お待ちしております。 	 8月20日仙台 広瀬川灯ろう流 しに、絵灯ろうを 展示して参まし た。今年で7年目 ですが、仙台市長や地 域の皆様大変喜んで 頂きました。 	 8月21日、稲川中 学校の生徒6名が校 長先生と共に当社を訪 問してくれました。建設 業及び当社の概要と地盤事業について説明。 目的はまだ明らか にできませんが、と ても楽しい展開 になりそうです。 